

② 駅北側・中央・南側自由通路の検討

駅北側自由通路（JR管理通路活用・周辺街区連携案）	
案の特徴	西口 周辺街区の建替え等と連携し、西口接続位置を確保した案。また、JR管理通路を自転車横断専用通路として活用し、オートスロープを併設した階段を設置
	東口 既存自転車駐車場・タワーパーキング位置に階段及びバリアフリーEVを設置。また、JR管理通路を自転車横断専用通路として活用し、オートスロープを併設した階段を設置
模式図	<p>オートスロープ併設階段のイメージ</p> <p>周辺街区との連携等による自由通路の接続</p> <p>自転車横断専用通路としての活用検討</p> <p>凡例 ■ 改札内コンコース ■ 駅施設 ■ バリアフリーEV ■ 自由通路付属店舗</p>
特性	<ul style="list-style-type: none"> 周辺街区の建替え等との連携により、一体的かつ有効な幅員が連続した自由通路の設置が可能となる検討案。また、周辺街区との連携に至るまでに西口接続部を道路上に暫定整備するなど、段階的整備についても検討可能性がある。 JR管理通路の活用により、デッキレベル（歩行者）と地下レベル（自転車）の交通の役割分担が図れ、駅周辺での自転車の東西連絡が可能となる検討案。
課題	<p>[西口]：周辺街区の建替え等の実現に拠る。</p> <p>[東口]：既存自転車駐車場、既存駅ビルタワーパーキングの収容台数の付替えが必要。なお、駅ビルは当該タワーパーキング（収容台数30台）の他、アロマスクエア地下駐車場（297台）を特約駐車場として利用している状況にあり、周辺駐車場との連携による付替えの検討可能性はある。またデッキレベル、地下レベルの交通が錯綜しないよう配慮が必要。</p>

駅中央自由通路（既存通路拡幅及び駅北口改札設置案）	
案の特徴	駅舎の躯体改修、階段・エレベータの移設を伴う既存通路の拡幅とともに、駅北側自由通路整備と併せた北口改札の新設、増床を行う案
模式図	<p>凡例 ■ 改札内コンコース ■ 駅施設 ■ バリアフリーEV ■ 自由通路付属店舗</p> <p>北側デッキ整備検討位置</p> <p>視認性改善</p> <p>駅舎増床・改札新設</p> <p>駅ビル改修・建替え等に併せた中長期的な出入口位置の移設検討</p>
特性	<ul style="list-style-type: none"> 既存通路の拡幅により、東西出入口の視認性が高まり、分かりやすい駅空間となる可能性がある。 学生等の高い需要が見込まれる駅北側自由通路・北口改札の設置により、各方面に応じた交通の分散化・整流化が図れる可能性がある。 駅北側自由通路・北口改札整備を先行させることにより駅中央工事期間中の代替ルートを確保できる可能性がある。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な駅舎の改修・整備となり、整備に時間を要する。 駅舎の重心が北側に偏心するため、ホームの分散利用等に課題を生じる可能性がある。 既存ホーム北側は幅員が狭いため、階段設置に課題がある（ホーム拡幅等が望まれる）。

南側自由通路			
線路上空（グランドデザイン案）		地下（蒲蒲線整合案）	
案の特徴	西口 東急駅ビル及び既存自転車駐車場位置に接続した検討案	蒲蒲線整備に併せ地下自由通路を整備した場合において、まちとの主な接続位置（縦軸空間）について整理した案	
	東口 JR側線を南北縦断した案（JR側線廃線による支柱の設置を前提とした検討案）。また、駅ビル荷捌き位置に階段を設置した検討案		
模式図	<p>凡例 ■ 改札内コンコース ■ 駅施設 ■ バリアフリーEV ■ 自由通路付属店舗</p> <p>東急改札口</p> <p>西口駅前広場</p> <p>東急プラザ</p> <p>JR側線廃線による支柱の設置を前提</p> <p>駅ビル荷捌き位置に接続</p>	<p>凡例 ■ 改札内コンコース ■ 駅施設 ■ バリアフリーEV ■ 自由通路付属店舗</p> <p>蒲蒲線整備計画と整合した駅南側東西自由通路の整備</p>	
特性	<ul style="list-style-type: none"> 東急線改札方面と東口駅前広場の連絡性が向上することが考えられる。 なお、駅南側では「蒲蒲線」の事業化検討が進められているため、蒲蒲線の事業化に長期間を要する場合の代替案として考えられ、二重投資とならないように配慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 蒲蒲線整備に併せ、駅、駅前広場、商店街、区役所やアロマスクエアなどの公共施設等、高い需要が見込まれる駅南側での連絡性、回遊性の強化が図れる。 	
課題	<p>[西口]：東急側接続部に係る鉄道・駅ビル事業者との十分な協議が必要。</p> <p>[東口]：JR側線の廃線を前提としており、鉄道事業者との十分な協議が必要。駅ビル荷捌きに支障が出るため、駅ビル事業者との十分な協議が必要。</p>	<p>[全体]：蒲蒲線の事業化に拠るため実現に時間を要する。</p>	

※本頁の各案は検討案の一例であり、継続的な検討の深度化とともに、今後の関係事業者・機関、地元等との協議・検討が必要